

# 平成 26 年度 中郷小学校区 第 2 回きずなづくりトークまとめ ～仮称：地域コミュニティ連絡会～

11月14日(金)に開催された「中郷小学校区第2回きずなづくりトーク～仮称：地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。  
(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)



ご参加ありがとうございました。

## 【当日参加団体一覧】

団体名		
梅名自治会	民生委員・児童委員	中郷西中学校
安久町内会	八鶴悠和会	子ども会連合会
エコリーダー	中郷小学校	中郷地区地域包括支援センター
スポーツ推進委員	中郷小学校 PTA	中郷地区自治会連合会

※当日参加者 13 名

会場アンケート：「テーマ別会議」「協議会設立」について、  
参加者の意向を伺いました。



## 【会場アンケート結果】

テーマ別会議
①防災訓練で中学生が活躍できるプログラムを企画してみよう！・・・・・・・・・・ 5人
②地域で活動している団体同士をつなぐ場について考えよう！・・・・・・・・・・ 5人
③子どもをほめて、しかって、皆で育てる地域にするには？・・・・・・・・・・ 3人
④その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0人

※テーマ①と②の2グループに分かれ話し合いました。(別紙「テーマ別会議まとめ」参照)

協議会設立の意向
①議会に向けた取組みを進めたい・・・・・・・・・・ 6人
②連絡会を継続したい・・・・・・・・・・ 7人
③その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0人

**— 団体より校区の皆さんに情報提供・協力をお願い —**

- 中郷小学校：学校便り(月 1 回)とホームページのブログで日々の活動情報を公開。ぜひご覧ください。
- 子ども会連合会：5・6年生を対象にインリーダー講習会を実施(年 12 回のプログラム)している。
- 中郷エコリーダー：子ども向けの中郷地区史跡巡りを検討中。小学校と相談して進めていきたい。
- 安久町内会：災害時に中学生の力を発揮できる防災組織づくりについて考えている。
- 中郷西中学校：親が子どもに声をかけ一緒に防災訓練に行くという環境を整えていってほしい。

テーマ①「防災訓練で中学生が活躍できるプログラムを企画してみよう！」

(テーマ①班：参加人数 8人)

●地域が中学生に期待すること、中学生がやりたいこと、それらをすり合わせプログラム内容を考えること、地域で訓練日を統一すること等について話し合いました。

**第1回トークのふりかえり**  
 ★防災訓練に中学生を参加させるには、地域の受け皿が大事  
**中学生が活躍できるプログラム例**  
 ゲーム形式・伝言ゲーム・バケツリレー・担架の作り方・お年寄りの話し相手・幼稚園児のお世話の練習など

**★現状**  
 ・(御園) 11/2 中学生も参加し合同訓練実施。担架づくり、消防、三角巾、縄の結び方、エンジンのかけ方など中学生は全部経験した  
 ・(梅名) 運動会の前に防災訓練実施。三角巾などや消防署の方が AED を教えて中学生も体験

今の中学生はやる気も訓練への興味もある

**アクション**  
**■震災の体験談を聞く**  
 ・実際に被災者の体験談を聞かせて、中学生に考えさせる

**アクション**  
**■中学生に何をしたいのか聞く**  
 ・「自分たちは地域でどのようなことができるのか？何がしたいか？」提案してもらおう  
 ・「地域はこう考えているがどうなのか」と、中学生に投げかけていく

**★中学生もいろいろ**  
 学年／体力差／男女差／個人差

**★経験することが大切**  
 ⇒参加のきっかけづくり  
 ・段階的な経験が重要 (1年⇒3年ステップアップ)  
 ・担当部署を決めておく (3年生は医療系など)

**★おもしろい／実践的な訓練**  
 ・男子生徒は可搬式ポンプのエンジンを回すことが楽しい  
 ・実際に興味のあること、面白さを感じることをやる

人の役に立つ喜びを実感

・防災訓練後のつながりがほしい  
 ・訓練は積み重ね。数多くこなしていくことが大事

**アクション**  
**■地域がプログラムを用意して説明することが大事**  
 ・中学生が自ら考えることはなかなかない⇒大人が用意する  
 ・プログラムの中に、学校で体験できないことを入れていく

**告知の工夫**  
 ・地域から具体的なプログラム(たたき台)を提示する

**★地域が中学生に期待すること**  
 ・医療の支援活動(災害時にケガした人のケア、簡単な救護)  
 ・実践的な活動(担架の使用、建物などの下敷きになった人の救出訓練)  
 ・男女の役割の違いを意識  
 ・備蓄係・配送支援(男子生徒)  
 ・物資の配送などシンプルな作業  
 ・後方支援(大人の補助)  
 ・避難所・集合者の名簿作り

これらは次の訓練ですぐ実施できるのか？

**アクション**  
**■学校と地域の相談が必要**(地域は学校のスケジュールがわからない)  
 ・地域がやらせたくても中学生はどうか  
 ・中学生がやる気になることが大事

**アクション**  
**■地域一斉の防災訓練の検討**  
 ・中学生は、基本的に土日は部活  
 ・中学生を出すには訓練日を統一(部活も一回の休みですむ)  
 ・12月だと部活もなく、やりやすい  
 ⇒**地元の自治会、自主防災会などが集まって相談(地域で日程を調整)**

**★もうできていること**  
**地域の人材活用**  
 ・元看護師が参加し、指導  
 ・地域の医者が持ち回りで面倒を見てくれる

**消火器訓練**  
 ・男女中学生が消火器訓練を体験。わりと簡単で体力も必要ない。中学生から毎年やる機会がある

中学生は結局後方支援が主体⇒大人とペアで動く内容を

**★保護者の後押しが大事**  
 ・今の中学生はすごく忙しい  
 ・親が出ないと子どもは出ない  
 ・親の防災に対する姿勢が子どもへすごく影響する

**アクション**  
**■自治会の受け入れ体制**  
 ・大人が訓練を熟知する体制が肝要

今回出た主な意見は以下の通り！  
 ・中学生がしたいことを把握する  
 ・中学生が参加できる日程調整  
 ・中学生の役割を明確にする  
**地域の皆さんと連携し、企画を進めていこう！**

●地域のつながりの場に期待出来る事(メリット)ややりたい事、「どのようにしてつながるか？」等について皆さんの意見を出し合いました

■地域にどんな「つながり」の場がほしいか？

●人材を探す・活動の充実を図る場

- ・エコに興味のある人(活動する人)を募集しているが、なかなか集まらない。人材探しに苦労している。
- ・市が環境大学を開催。受講者は多いが、活動者は少ない。参加者を増やす為のアピールする場が欲しい。(エコリーダー)

●多団体との連携の場

- ・民生委員として、自治会との連携、自主防との連携、組長(担当地区)との連携
- ・自治会(町内会)、子ども会、学校の連携

●話し合える場

- ・地域全体で集まる機会が無い。
- ・個人活動のみ。地域と話し合いの場がほしい。
- ・共通の問題を持った団体が集まり、話す場。
- ・合同で話せれば、お互いの活動を把握できる。

●顔が見える場

- ・年齢に関係なく顔の見える関係づくり、地域づくりに向けて進める。
- ・民生委員としては、自治会役員等に顔や名前が知られていないと活動に支障が出る。
- ・お互いの顔と名前、活動状況を紹介しあう。

●協力しあう場

- ・悩みを相談して解決できる場(協力を得る)
- ・小学校PTAとして他の団体活動に、積極的に参加する方法を一緒に考えていきたい。
- ・PTA活動だけでもけっこう大変。各団体の予定を把握し効率良く動けるようにしたい

●きっかけづくりの場

- ・情報を発信してきっかけを与えたり、もらうことができる場。
- ・PTAとエコリーダー直接の交流が無い。PTAとしてもエコ活動について知りたい。

いろいろな場(機能)が期待できる。実現させる為には、まずは『**集まって顔を合わせる**』ことから！



■集まって具体的に

どんなことをやりたいか？



★各団体の課題解決に向けた話し合い！

- 困っていることを相談する。協力を求めたいことをお願いする。
- 自分達の団体に課題があれば、その課題に対し他の団体ができることを協力提案する話し合い。
- 集まった人たちで何をやるかを話し合う。

★地域活動の企画！



- 地域パトロールと夕方あいさつ運動(小PTA)
- 廃品回収とエコについて活動企画(小PTA)
- 廃品回収や運動会に、地域の団体を組み合わせせていく。その方法は？
- お茶会サロン
- ふれあい活動(例：自治会館で誰もが集まれる遊べる場。親子やご老人、趣味の集い等)
- 世代間交流

■どうしたら皆が集まれるか？

★既存の会議から発展させられないか。

⇒議題に合わせて他の団体代表者を新たに加える。他団体にも意見を求めることで、話し合いが発展していくのではないかな？

★活動内容や代表者連絡先がわかる「**地域の活動団体一覧表**」を作ってもらえれば、つながるきっかけになる！

